

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市たんぽぽホーム(立町・大野田・田子西・上飯田・西花苑)			
2 指定管理者	社会福祉法人仙台はげみの会			
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日			
4 施設の利用状況	《利用者数》	令和5年	令和4年	令和3年
	・立町	1,710人(前年度比63.9%)	2,676人(前年度比107.4%)	2,491人(前年度比118.3%)
	・大野田	3,203人(前年度比85.1%)	3,765人(前年度比121.3%)	3,105人(前年度比119.1%)
	・田子西	2,176人(前年度比89.0%)	2,445人(前年度比103.6%)	2,361人(前年度比113.3%)
	・上飯田	2,339人(前年度比116.1%)	2,015人(前年度比 87.6%)	2,299人(前年度比118.9%)
	・西花苑	2,133人(前年度比88.4%)	2,413人(前年度比125.8%)	1,918人(前年度比111.1%)
	《事業》	児童発達支援事業		
5 収支の状況	《費用》			()は前年度決算額
	・ 指定管理者に支払った費用	268,346千円	(252,709千円)	
	・ その他市が負担した費用	3,775千円	(344千円)	
	《収入》			
・ 使用料収入	174,005千円	(180,410千円)		
・ その他収入	0千円	(0千円)		
6 利用者の声	《実施状況》 令和5年12月～令和6年1月、指定管理者の協力のもと、障害者支援課で利用者アンケートを実施した。			

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的に沿った事業計画が作成されており、職員も設置目的を適切に理解し、施設運営に当たっている。 利用者個々の年齢や発達状況、障害特性に合わせた療育支援を工夫して行っている。 近隣の子育て支援機関と連携し、地域支援の充実にも積極的に取り組んでいる。	42/42
II 施設の運営管理体制	事業計画に基づいた運営がなされている。 情報管理の徹底に努めており、事故防止や災害発生時の対応や体制を確立しているほか、各種マニュアルの整備や、毎月の避難訓練の実施など、利用者の安全に配慮した運営に努めている。一方、基準上毎月の実施が求められている消火訓練については実施されていない月があった。 経理書類の作成及び通帳印鑑の管理については適正に行われている。	23/24
III 施設・設備の維持管理	施設の定期的な保守点検・清掃を丁寧に行っており、利用者が快適かつ安全に利用できる環境整備に努めている。 教材を手作りしたり、再利用するなど、環境へ配慮した取り組みを進めている。	24/24
IV サービスの質の向上	定期的に研修や職員会議を実施し、人材育成を図るとともに情報共有に努め、職員全体でのサービス向上に努めている。また、アンケートの実施等で利用者のニーズ把握に努め、利用者の意見を取り入れた施設運営を心掛けている。	27/27

V 施設固有の基準	集団での療育の他、1人1人の発達課題に添った個別活動の実施や、保護者との面談・療育場面の共有を通し、利用者個々の発達に寄り添った個別支援計画の作成に努めている。 指定児童発達支援事業所として、基準を遵守しながら利用者処遇の向上に努めている。	4/4
------------------	---	-----

三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人仙台はげみの会）による自己評価》
<p>1. 発達支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの特性に合わせた分かりやすく取り組みやすい環境を整え、個々に応じた療育の工夫をした。個別活動の中で成功体験を積み重ね、子どもの成長した姿を保護者と共有し、成長につながる手だてを考えることができた。 ・親子活動を基本としながら、在籍期間や個々に合わせて施設内分離を実施した。また、年齢に応じて単独通園も実施し、子どもに合わせた活動の形態を工夫した。 ・定期的に個別活動の機会を設け、子どもの強みや苦手さを保護者と共有し、子どもの理解や対応を考える機会とした。 ・例年に比べ在籍人数が少なかったホームにおいては、年度当初の予定より毎日登園、単独通園の対象の枠を広げ、施設内分離も積極的に行った。 <p>2. 家族支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者勉強会を定期的実施し、子どもへのより良い対応や進路決定等について学ぶ機会とした。 ・相談支援事業所と連携し、ケースに応じた柔軟な支援を実施した。 ・卒園児支援「さくらんぼ」にて保護者同士の情報交換や就学相談、放課後ケア事業についての勉強会を実施した。 ・保護者の通院などの際の一時預かりのほか、きょうだい児の行事や預かりも実施することで、保護者の育児負担軽減につながっている。 ・個別支援計画作成にかかる面談のほか、保護者のニーズに合わせて、その都度面談する機会を設けた。 <p>3. 地域支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「移行支援シート」を用いて進路先に子どもの様子をわかりやすく引き継ぎ、卒園後も安心して過ごせるよう努めた。 ・地域相談員が子育て機関や保育所を定期的に訪問し、継続した支援を実施した。 ・市民センター等を会場にして「初期支援プログラム」「ペアレントプログラム」を開催し、就学前療育支援の拡充に努めた。一部日程については開催場所を児童館としたことで、児童館職員の理解と協力を得ることができ、地域への普及にも繋がった。

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和5年度の管理運営について、協定書及び仕様書に従っておおむね適切・良好に行われた。</p> <p>児童の年齢や特性に応じたきめ細かい療育を行う工夫がなされ、療育内容の充実が図られている。加えて、保護者勉強会の定期的な開催、きょうだい児向け行事やきょうだい児預かりといった家族支援も充実している。</p> <p>また、「移行シート」を活用したり、卒園児の進路先を訪問する等、移行支援を丁寧に行っており、園児が卒業後も引き続き安心して過ごせる環境の整備に努めている。</p> <p>基準上毎月の実施が求められている消火訓練が実施されていない月があったため、一部項目について減点を行ったが、利用児童への発達支援だけでなく、家族支援や地域支援を含め、安定した質の高い支援を提供し、良好で円滑な管理運営を行っていることから、総合的には高く評価できる。</p>	<p style="font-size: 2em;">A</p>

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項